

会 議 録		令和 5 年 2 月 20 日 作成	令和 8 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府山科警察署協議会（令和 4 年度第 4 回）		
開催日	令和 5 年 2 月 7 日（火曜日）		
時 間	午後 2 時から午後 3 時 20 分までの間（80 分）		
場 所	京都府山科警察署 署長室		
出席者	温井会長、小林副会長、古川副会長、谷口(良)委員、那谷委員、西村委員 西川委員、川中委員、浦野委員、谷口(雅)委員、一原委員、山下委員 角田委員 <span style="float: right;">計 13 人</span>		
	署長、副署長、警務課長、地域課長、交通課長、交通課長代理、 広聴・相談係長 <span style="float: right;">計 7 人</span>		
諮 問 事 項	効果的な交通事故防止対策について		
会 議 内 容	1 会長挨拶	司会	警務課長
	2 署長挨拶		
	3 協議	司会	会長
	(1) 諮問事項説明		
	効果的な交通事故防止対策について～交通課長		
	【委員】交通事故発生状況について、時間や曜日の説明があったが、多い時期はあるのか。		
	【警察】今の時期が特に多く、時間帯も夕方 5 時台が倍増している。		
	【委員】夕方、車で走っていると無灯火の車が多い。		
	【警察】12 月から 2 月上旬までの間、山科署では、「4 時からライト」という活動を行い、警察官が夕方 4 時にライトを点灯して管内を巡回し、一般車両に対して夕方 4 時からのライト点灯を呼び掛けているが、浸透していない。		
	【委員】車同士の事故が減っていると報道で知ったが、自動ブレーキの普及などが関係しているのか。		
	【警察】出会い頭の事故や、右・左折事故は増えているが、追突事故は横ばいである。自動ブレーキは追突事故を防止するという大きな目的があ		

会 議  
内 容

る。詳しい資料はないが、出会い頭事故や右・左折事故が増えている中で、追突事故が増えていないということは、自動ブレーキの影響があるのかもしれない。

【委員】自動ブレーキ機能が付いている車が追突事故を起こしたことはあるのか。

【警察】自動ブレーキ機能が付いた車の事故かどうかは統計を取っていない。ただ、今後、統計を取らなければならないと思う。

【委員】この前、大雪の日があったが交通事故件数はどうであったか。

【警察】雪が降り始めてから一気に増え、物件事故は普段の倍以上あった。ただ、皆さん速度を落として運転することから、幸い大きな事故はなかった。

【委員】通行止めは警察で判断するのか。

【警察】道路管理者の判断になる。国道であれば国道事務所、府道や市道であれば、土木事務所が判断する。

【委員】解除もそうなのか。

【警察】解除についても同様である。

【委員】交通事故防止には、やはり啓発活動が大切だと思う。

【警察】先ほど、山科署の取組を紹介したが、なかなか斬新なアイデアが出てこないため、皆さんの意見を参考にしたいと考えている。

【委員】私は、走行中にパトカーや白バイが走っているのを見掛けると、交通安全に対する意識を強く持つ。やはり、それが一番効果があるのかなと思う。

また、移動しながらの速度取締りを見掛けたことがある。

【警察】速度取締りは、以前からの固定配置での取締りもあるが、「可搬式オービス」と言って、特定の場所に固定しなくても取締りができるようになった。

【警察】関連があるかもしれないが、去年は交通事故で4人亡くなっている。令和3年は統計史上初めて、死亡事故が0であった。令和3年の交通取締りは、他の年と比べて多かったことから、今年も同じように行いたいと考えている。

【委員】六地蔵での飲酒取締りについて、検挙件数はどれくらいあったのか。

【警察】何人か検挙したが、逮捕者はいなかった。

【委員】私の高校では、自転車通学が多いため、住民の方から電話やメールで苦情が入る。今朝も学校近くの一方通行の道に立ち、逆走してくる生徒がいないか見ていたところ、上がってくる生徒がいたため注意した。

なかなか生徒たちが道路交通法を学ぶ機会がないため、今期は学ぶ

会 議  
内 容

機会を設ける予定にしている。

マナーについて、以前は、イヤホンをつけていたら預かることにしていたが、今後は、学校で預かることが難しくなるため、イヤホンの取締りをしてもらえたら効果はあると思う。

【警察】取締りも行っていく。委員の高校では、1回指導啓発を行わせてもらったと思うが、高校生には自転車教室をしっかり行っていききたいと思う。コロナも落ち着いたことから、以前のように交通安全教室を行っていききたいと思う。

また、4月からヘルメット着用が努力義務化となることから、自転車の交通ルールを多くの人に周知したいと考えている。

【委員】各高校には生徒指導部があり、各部長が集まる会議でヘルメット着用の努力義務化について話題になった。

今年の1月に別の高校の生徒会の学生たちと、この自転車ヘルメット着用の努力義務化について話し合いをした。

【警察】高校生にはヘルメットを被ってほしいと思う。学生たちが被ってくると一気に広がりを見せると思う。ただ、髪型が崩れるなどの意見が出ている。

【委員】また、費用の面での問題がある。家庭の事情等もあり、なかなか難しいと思う。ただ、原付バイクのヘルメット着用についても、以前は要らなかったが、今では浸透している。努力義務では定着は難しいのではないかと感じている。

【警察】1月2日の死亡事故は、自転車乗車の方が後ろから来た車にはねられて亡くなられた。ライトを点けて左端を走っており、ヘルメットを被っていれば助かっていたかもしれない。

私は、この事故の教訓を皆さん方に話して、ヘルメットの着用を訴えていきたいと考えている。大切な命であるため、私は大丈夫ではなく、このような事故があるのでヘルメットを被ってほしいと思う。

【警察】ヘルメットについて、多分多くの方がヘルメットを手にとって見たことがないと思う。実際手に取れば、凄く軽くてオシャレなヘルメットも出てきていると思う。山科署でも公かいに並べて置いてみようかと考えている。署へ来られた方が、「これだったら買おうかな。」という意識が生まれるのではないかと考えている。

【委員】逆の発想だが、中学からヘルメットを着用している地域のように、子どもの頃からきっちり指導していけば、大きくなっても被る抵抗というのがなくなると思う。

私は高校生のマナーは問題ないと思っており、それよりも大人のマナーが非常に悪いと思っている。

会 議  
内 容

学生は、学校の先生が指導してくれると思うが、大人には誰も教えてくれないというのが現状だと思うため、町内会や体育振興会などで、大人に対しても指導する仕組みが出来たらいいのではないかと思う。

【委員】学校には、「四ない運動」や「三ない運動」などPTAとの申し合わせから学校で指導している状況であり、それが、親の願いでもあることから、免許を取らせていない。自転車についても、府が一斉に各学校に対して動くようであれば、各学校も指導するようになるのではないかと考えている。

【警察】高校にヘルメットを持って行き、生徒に見てもらおうというのはどうか。

【委員】ヘルメットの必要性を知る機会になると思う。

【委員】ヘルメットの着用は、大人もお年寄りも全国的な取組なのか。

【警察】そうである。自分で転倒されて亡くられる方もおられるため、お年寄りの方には被ってもらいたいと思う。

【委員】自転車通行のルールについては、学校単位では難しい。

【委員】学校からの指導も当然行っていくが、家庭における指導が必要である。今度の新一年生に対する自転車通学願いには、「ヘルメット着用の努力義務化について理解していますか。」という内容を入れている。

【警察】先日、ヘルメット着用努力義務化の啓発を行ったが、ほとんどの方が知らなかったことから、粘り強く行っていかなければならないと実感した。

【委員】ある保険会社の方から、車の事故はシートベルトをしていなければ不利になるが、今後、自転車でヘルメットを被っていないとあって、不利になることはないという話をされていた。

【警察】その件は、後日保険会社に確認させてもらう。

【委員】電動キックボードは免許が要らなくなるそうだが、何か矛盾していると思う。

【警察】基準に適合している電動キックボードは、7月1日から16歳以上であれば免許不要、ヘルメットは努力義務となる。

【委員】大学生がヘルメットを被るとは思えない。警察の方は、義務ではない時に自転車に乗る際、ヘルメットを被っているのか。

【警察】私は被っている。ただ、ママチャリでは、スポーツタイプのヘルメットでは似合わないということや、危険性についてもそんなに考えられていないと思われる。

まずは、警察官が率先してヘルメットを被らなければならないと思う。

(2) その他

会 議  
内 容

【委員】先日、母親に柳辻交番から「特殊詐欺に気を付けてください。」との内容の電話があった。日頃から留守番電話にしているため、最初は出なかったが、2回目に電話がかかってくる時に出たところ、このように言われた。母は「これってほんまやろか。」って言っていたが、何か取組をしているのか。

【警察】各交番に「交番相談員」がおり、警察官が不在の際に来訪者等の対応をしている。相談員の日常の勤務の中に「いたわりテレホン」という、管内の高齢者の方に電話をかけて、特殊詐欺の発生状況や手口などを説明し、被害防止のための啓発活動を行っている。

【委員】警察官をかたるという手口があるが、本当の警察官なのか。詐欺の場合、家族構成を聞くなど、違いは顕著にあるのか。こういうことを聞かれると詐欺だという、何か見分け方があるのか。

【警察】クレジットカードの話やお金の話など、相手から聞き出すようであれば、間違いなく詐欺と疑ってもよいと思う。そのような電話があれば、一旦電話を切り、警察や家族に相談してもらいたい。また、「喉の手術をした。」など、普段と違うことを言われるとパニックになると思われる。そのような時こそ、一旦電話を切り、山科署に相談してもらいたい。

【委員】最近、テレビで強盗事件のニュースなどを見るが、私の近所で、つい最近、何も盗られていないが、泥棒に入られ、周辺において不審な男がうろろろしているのを見掛けたと聞いた。管内でも、強盗事件などが発生しているのか。

【警察】強盗事件はないが、家の金庫を狙われて現金が盗まれたという事件はある。あそこにはお金があり、どこに金庫があると把握した上で非常に手際よくやっている。どこかで情報が漏れているというか、情報がやり取りされているのか、組織的犯行なのか、犯人は検挙できていない。時々、「防犯カメラ映像に不審な人物が敷地に入って来た。」、「出て行った。」という相談もある。それが空き巣目的なのか、のぞき目的なのか等、はっきりと分かっていない。

【委員】銀行では引き出しにくくなっており、結構な金額を家に置いているという方が多いと思う。限度額などのサービスが嫌みたいだ。

【委員】コロナ前には、防犯カメラが設置されていくということを聞いたことがあるが、その後、いかがか。

【警察】まだ、この辺りに防犯カメラを設置したいという場所はある。かなり捜査には役立っている。

【委員】高齢者の免許返納は増えているのか。

【警察】減っている。昨年は 646件返納してもらっているが、幸い、山科署

会議 内容	<p>は高齢者の事故は少ない。</p> <p>4 事務連絡</p> <p>令和5年度第1回京都府山科警察署協議会の開催日程は、会長と調整の上、令和5年6月上旬に実施予定とし、後日、連絡する。</p> <p>以上</p>
----------	---

## 第4回京都府山科警察署協議会の開催状況

